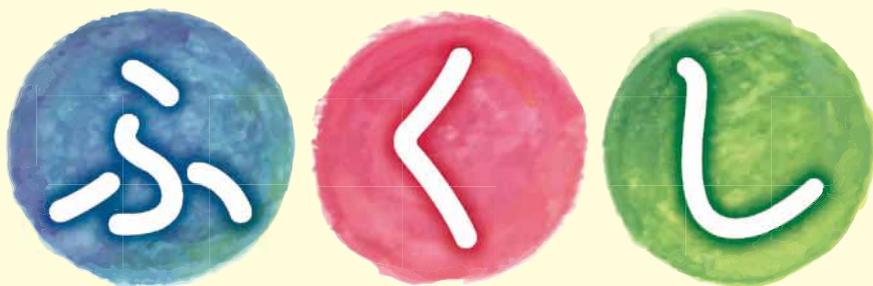


～一人ひとりが認め合い、私たちが楽しく暮らせるあったかなまち～

那珂市の



No.117 令和4年
6月27日発行

那 珂 市 社 会 福 祉 協 議 会



「子育てサロン in ひだまりの様子」詳しくは8ページをご覧ください

目次

那珂市社会福祉協議会 令和4年度事業計画・予算 … 2	社協インフォメーション …… 6
那珂市社会福祉協議会 令和4年度主要事業の概要 … 3	善意銀行からのご報告 …… 7
第4次那珂市地域福祉活動計画を策定しました …… 4	「あん・しん・ねっと」ってなあに? …… 7
令和4年度那珂市社会福祉協議会会員加入ご協力をお願い … 5	ふれあいいきいきサロン …… 8
那珂市自立相談サポートセンターのご案内 …… 5	きずなBOX令和3年度寄付食品1.6t達成 …… 8

那珂市社会福祉協議会 令和4年度事業計画

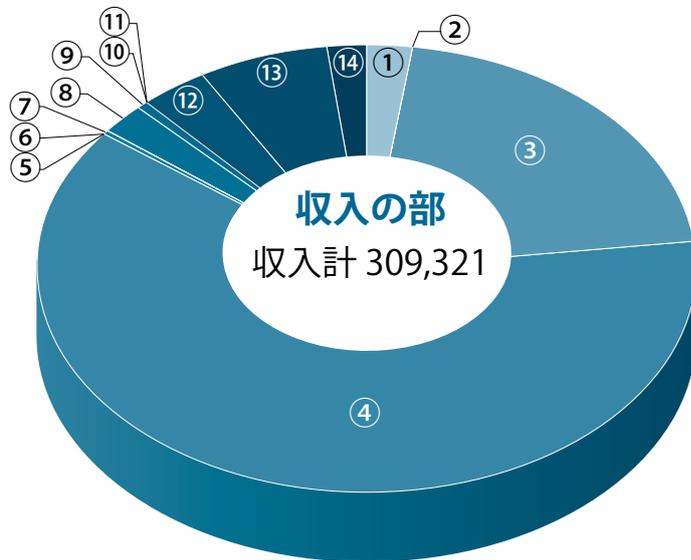
◆基本方針

本年度は、「第4次地域福祉活動計画」の施行初年度に当たり、「対話と共感」を軸として、各団体組織がお互いを理解し合い、立場を超えた相互協力体制を確立することで、地域共生社会の実現を目指します。
また、法人としてこれまでどおり適正かつ透明性のある経営に努めます。さらに、地域においては共に助け合い、支え合い、誰もが身近な地域で自分らしく自立した生活を送ることができる地域コミュニティづくりとそれを補完するサービスの充実を図って参ります。

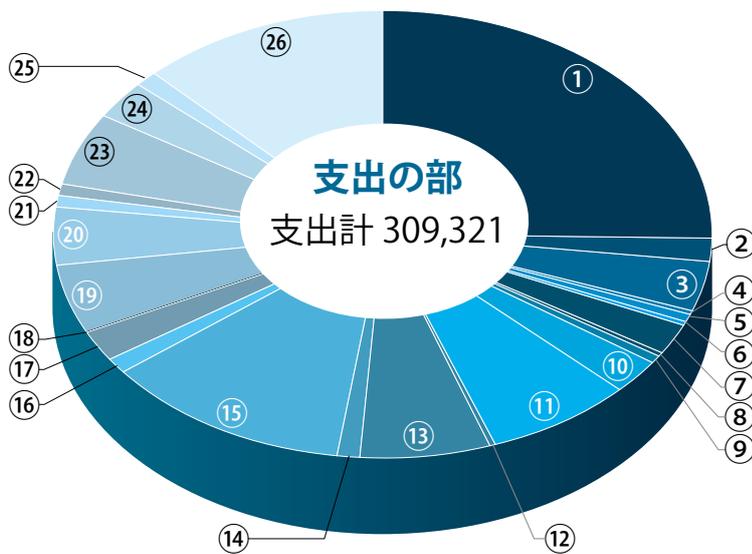
◆重点目標

- 個別支援と地域づくりの包括化による地域福祉の深化
 - ①コミュニティソーシャルワーク※₁の強化による、相談・社会参加支援、居場所づくりの一体的展開
 - ②社会的孤立状態にあるかたへのアウトリーチ※₂と多様なメディアを活用した情報提供の強化
- ICT※₃や新しい視点による新時代の福祉活動の推進
 - ①社会環境の分析を踏まえ、既存の地域福祉活動の見直しと新時代の活動のあり方を検討
 - ②ICTや新しい視点を取り入れ、活動への参加方法や新しい就労、学びにつながる手法の検討

那珂市社会福祉協議会 令和4年度予算



収入の部		単位：千円
①	会費収入	7,350
②	寄附金収入	360
③	経常経費補助金収入	64,107
④	受託金収入	192,777
⑤	貸付事業収入	200
⑥	事業収入	74
⑦	負担金収入	581
⑧	介護保険収入	6,259
⑨	障害福祉サービス等事業収入	2,109
⑩	受取利息配当金収入	21
⑪	その他の収入	70
⑫	事業区分間繰入金収入	10,007
⑬	サービス区分間繰入金収入	20,212
⑭	前期末支払資金残高	5,194
	収入計	309,321



支出の部		単位：千円
①	法人運営事業	78,932
②	地域福祉推進事業	5,117
③	ボランティア活動支援事業	11,216
④	あん・しん・ねっと事業	671
⑤	福祉サービス利用援助事業	1,887
⑥	善意金品事業	362
⑦	共同募金配分事業	7,107
⑧	貸付事業	577
⑨	ファミリー・サポート・センター事業	1,582
⑩	高齢者のいきがいと健康づくり推進事業	8,280
⑪	介護保険認定調査事業	22,563
⑫	障害支援区分認定調査事業	396
⑬	地域活動支援センター事業	20,015
⑭	障害者相談支援事業	3,503
⑮	障害者基幹相談支援センター運営事業	37,510
⑯	市民活動支援センター事業	3,800
⑰	要援護者支援システム運営事業	6,798
⑱	障害者虐待防止センター運営事業	183
⑲	介護予防・生活支援サービス基盤整備事業	14,786
⑳	生活困窮者自立支援事業	12,860
㉑	障がい者差別解消推進事業	2,775
㉒	生活保護受給者等就労自立促進事業	2,471
㉓	包括的支援体制整備事業	16,762
㉔	居宅介護支援事業	8,259
㉕	障害福祉サービス事業所運営事業	3,909
㉖	総合保健福祉センター管理運営事業	37,000
	支出計	309,321

(内部取引消去額 32,423 千円を含みます)

※1 コミュニティソーシャルワーク：地域において支援を必要とするかたに対して、地域とのつながりや人間関係など本人を取り巻く環境を重視した援助を行うことを指します。
 ※2 アウトリーチ：支援が必要なかたに対し、支援者側が積極的に出向いていくことを言います。
 ※3 ICT：通信技術を活用したコミュニケーションのことを指します。

令和4年度那珂市社会福祉協議会主要事業の概要

◇第4次地域福祉活動計画の推進

令和3年度策定した第4次那珂市地域福祉活動計画に沿って、個別支援と地域づくりを包括的に進めるとともに、ICTや新しい視点による福祉活動を推進していきます。

●いきがいを持って暮らせる地域福祉コミュニティづくり

誰もが役割を持って地域活動に参加できるよう、地域活動を推進するための技術や知識などを学ぶ機会づくり、地域のイベントなどの活動支援を通じて参加促進を図ります。また、住民主体による多様なサービスの開発、ふれあい・いきいきサロン活動支援を通じて、いきがいを持って暮らせる地域づくりを進めます。

【地域福祉コミュニティ推進事業】

【介護予防・生活支援サービス基盤整備事業】



プレゼンテーション研修の様子

●地域福祉について理解を広める取り組み

地域福祉の推進に必要な情報などを、広報紙「那珂市のふくし」や「ホームページ」、SNS（Facebookなど）を使用し、発信していきます。

【広報事業】

●障がい者やその家族が安心して暮らせる相談支援

障がい者やその家族が安心して暮らせる環境を整備するため、相談支援や事業者間の連絡・調整を行います。また、地域社会において取り組みが必要なことなどの検討を進めます。

【障害者基幹相談支援センター運営事業】

【障害者相談支援事業】

【障がい者差別解消推進事業】

●見守りネットワークの構築

高齢、障がい、病気などにより不安を抱えたかたが、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、住民や関係機関が連携した見守りのネットワークを構築します。

【あん・しん・ねっと事業】

●居場所づくりを進める取り組み

同じ悩みや不安を抱えたかたの居場所づくりを進めるため、当事者やボランティアとともに、居場所の設置促進を図ります。また、こどもの居場所運営・既存の居場所活動支援を行います。

【地域福祉コミュニティ推進事業】

●複合的な課題を抱えたかたへの相談支援

複数の悩みが重なり合ったかたなどに寄り添い、課題を整理し一緒に考えながら解決に向けて支援します。

【包括的支援体制整備事業】

【生活困窮者自立相談支援事業】

【生活保護受給者等就労自立促進事業】

【障害者虐待防止センター運営事業】

【障がい者差別解消推進事業】



●ボランティア市民活動の推進

より多くのかたがボランティア市民活動へ参加し理解が深められるよう、ボランティア体験や福祉体験学習などの支援を行います。また、ボランティアに関する研修や災害時ボランティア養成などを通じた人材育成や活動支援を行います。

【ボランティア活動支援事業】

【市民活動支援センター運営事業】



災害時ボランティア養成研修の様子

～第4次那珂市地域福祉活動計画を策定しました～

本計画は、令和4年度から施行の、地域福祉の進め方を示した**5か年の計画**です。

○基本理念 「一人ひとりが認め合い、私たちが楽しく暮らせるあったかなまち」

ひとや地域が多様化するなか、お互いのしあわせづくりのために、自分の想いだけでなく相手を思いやれるしあわせづくりを進めていく必要があります。

一つの「カタチ」に合わせるのではなく、一人ひとりの想いや価値観に合わせた「私たちが楽しく暮らせるまち」を目指します。

○基本理念を実現するための3つの目標

基本目標1 「一人ひとりの意見を丁寧に引き出します」

お互いの価値観を認め合える多様なしあわせづくりを進めるために、自らの想いを伝えられる機会を設けたり、上手に伝えられないかたへ寄り添ったりすることで、一人ひとりの意見を丁寧に引き出します。

基本目標2 「異なる意見を交わし合う場をつくりまします」

お互いの理解を深めるためには、自分の意見を伝えるだけでなく、異なる立場の意見に耳を傾けることが重要です。異なる意見を交わし合う場をつくり対話の機会をひろめ、お互いの理解を深めます。

基本目標3 「異なる主体が同じ方向を向けるようにします」

お互いのしあわせづくりのためには、自分だけでなく異なる主体どうしが目標を共有し、それぞれに活動することが重要です。そのために、それぞれに共通する目的で目標を定め、取り組みを進めます。

地域福祉活動計画の推進と社会福祉協議会の活動

計画の推進にあたって、那珂市社協では住民・関係者（団体）・行政などとの協働によって地域福祉を推進するため、次の重点事項を定め、活動してまいります。

(1) 個別支援と地域づくりの包括化による地域福祉の深化

～ 社会的孤立状態にあるかたへのアウトリーチと居場所づくり～（これまでの福祉の進化・深化）

社会的孤立状態にあるかたなど、声をあげられない（あげづらい）かたに対するアウトリーチを強化し、SNS やメールなど多様な形での社会参加が進められるよう、取り組みを強化していきます。

また、それらの取り組みを推進する上で多機関協働や福祉以外の施策とのつながりを積極的に展開できるよう、社協本来の機能である「中間支援」をより強化していきます。

①総合（包括的）相談支援機能の強化

②機能の整理

③地域づくり機能の強化

④居場所づくりと個別支援による社会参加の促進

(2) ICT や新しい視点による新時代の福祉活動の推進

～ 新しい参加や就労・学びのカタチづくり～ （新時代の福祉の創造）

ICT や新しい視点を取り入れ、活動への参加の方法や、現在課題を抱えながら生活しているかたたちの、新しい就労や学びの手法について検討を強化していきます。

また、活動の展開にあたっては、ファンディング※などの手法を積極的に取り入れ、間接的な地域福祉活動の強化も図っていきます。

①伝え方（広報など）の見直し

②事業の方向性見直し・新規事業の検討・調整

※ファンディング：主に民間非営利団体が、活動のための資金提供を個人、法人、政府などに呼びかける行為のことを指します

那珂市社会福祉協議会は地域福祉推進の営業マンとして、

「対話」を通じ人や組織をつなぎ、「共感」に基づき行動する地域づくりを進めます

なお、計画の詳細につきましては、那珂市社協ホームページや那珂市社協の窓口でご覧いただけます。

問い合わせ 総務・地域福祉グループ 229-0309

那珂市の福祉のまちづくりを社協会費で支えませんか

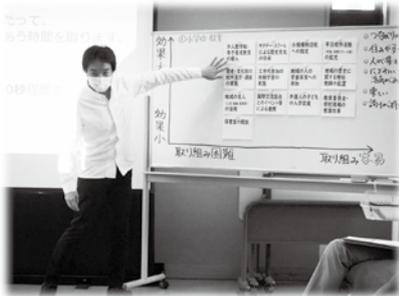
～一人ひとりが認め合い、私たちらしく暮らせるあったかなまちを目指して～

那珂市社協は、住民や関係機関のみなさまとともに、福祉のまちづくりを進めています。

みなさまからご協力いただいた会費は、那珂市内の福祉活動に活用しています。ぜひ、那珂市社協の会員として那珂市の福祉のまちづくりを支えませんか？



地域づくり推進に必要な
人材育成活動に



居場所づくりや
子育て世代の食の支援活動に



子どもの助け合いの心を育てる
「福祉の学び」の活動に



- 会費の種別（会費は1口、年額）**
- ◇一般会員 500円
 - ◇特別会員 一口1,000円以上
 - ◇法人会員 一口10,000円以上

会費は地域の活動のために使われています



問い合わせ 総務・地域福祉グループ 229-0309

那珂市自立相談サポートセンターのご案内

～これからのこと あなたと一緒に考えます～

那珂市自立相談サポートセンターでは、仕事が見つからない、生活に困っている、家賃が払えないなどの相談を受け付けています。専門の支援員が困りごとと一緒に考え、解決へのお手伝いをします。
(生活困窮者自立相談支援事業、生活保護受給者等就労自立促進事業)



今年度から新たな事業を開始しました

～社会参加や就職をお手伝いします～

～家計の立て直しをお手伝いします～

就労準備支援事業

「しばらく働いていない」「人間関係が不安」など、すぐに就労することが不安なかに、就労に向けたお手伝いをします。

家計改善支援事業

「生活が苦しい」「借金が返せない」などでお困りのかに、家計の状況を「見える化」し、改善できるようお手伝いをします。

問い合わせ 社会福祉協議会 菅谷分室 298-8881

社協インフォメーション *information*

相談

ふくし相談センター

ご本人やご家族、地域などのことで「どこに相談したらよいかかわからない」と思ったら、お気軽にご相談ください。専門の相談員が、一緒に考えながら解決へのお手伝いをします。

- 場 所 市総合保健福祉センターひだまり 菅谷分室
- 受付時間 午前8時30分から午後5時15分
- 受付方法 電話、FAX、面談(訪問も可)、メール
- 問い合わせ 社会福祉協議会 菅谷分室
298-8881 FAX298-8890
E-mail f-soudan@naka-shakyo.net

相談

障がい者の暮らしの相談 ※1 障がい者の日常生活の相談に応じます (要予約)

家族関係・人間関係の悩み、生活の工夫、困りごとに、相談員(障がい当事者及び当事者の親)が、相談に応じます。

- 問い合わせ 障がい・介護支援グループ
229-0309 FAX296-1002

案内

あがっぺほっとサロン ※2

こどもの不登校やひきこもりで悩むご家族へ悩みを置いていける場所・・・あがっぺほっとサロン「ずっと仕事をしていない(学校へ行っていない)」「家からほとんど出ない」など、同じ悩みや子育て経験があるかた同士でちょっと話してみませんか(聞くだけでもOKです)

- 日 時 原則毎月第2火曜日
午前10時30分から正午
途中入退室可
- 場 所 瓜連キリストの教会内あがっぺカフェ(瓜連573-1)
- 参加方法 申込不要 参加費無料
飲み物代ひとり200円～
- 問い合わせ 社会福祉協議会 菅谷分室
298-8881

案内

那珂市おもちゃ病院 大切なおもちゃ直します ※3

那珂市おもちゃ病院では、ボランティア活動としてお子様のおもちゃを無料で修理しています。修理の受付は活動日のみです。(※ゲーム機やアンティークおもちゃなど修理を受付できないものがあります)

- 活動予定日 7月14日・28日
8月18日・25日
9月8日・22日
(午後1時30分から午後3時30分)
- 会 場 総合保健福祉センター
ひだまり
- 問い合わせ 社会福祉協議会 菅谷分室
298-8881

※1・2・3については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止になる可能性があります。お手数でも事前にお問い合わせいただけますようお願い申し上げます。

○お詫びと訂正○

3月11日発行の「那珂市のふくし第116号」の一部に誤りがございました。

訂正してお詫び申し上げます。

訂正箇所：7頁「善意銀行からのご報告」物品の欄(敬称略)

誤：靴下 佐藤栄子 神沢ユキエ

正：靴下 佐藤米子 神沢ユキエ

公益社団法人

那珂市シルバー人材センター

植木剪定、草刈り、草取り、障子・襖の張替えなどお気軽にご相談ください。

シルバー会員募集中

- 那珂市菅谷3198
- 営業時間/8:30~17:15
- 定休日/土曜・日曜・祝日
- E-mail: naka@sjc.ne.jp

■TEL: 029-295-5741
■FAX: 029-295-5553



多様な人材の宝庫!

善意銀行からのご報告

令和4年2月22日から令和4年6月3日現在

みなさまの善意に感謝します。

■ 善意銀行とは…

みなさまからお預かりしたあたたかいお気持ち(お金や物品)を社会福祉のために活用させていただくための窓口です。

現金

預託者 (敬称略)	金額 (円)
預託者 () は指定先、それ以外は那珂市社会福祉協議会	
野木 利三郎	60,000
那珂市ゴルフ連盟	41,128
匿名	12,500
匿名	10,000
切手テレカボランティアポピー	26,024
菅谷グラウンドゴルフ愛好会	148
匿名	100,000
那珂市民生委員OB会	120,126

物品

- **車両**
アンダーツリー株式会社
- **書き損じハガキ・切手・テレカ (届け先 切手・テレカボランティアポピー)**
田中 愛美・田中 隼翔、伊藤 健一、小田倉 弘子、野田 敏之、小池 三男、横堀小学校、グループホームナザレ園、根目沢 秀子、勝井 明憲、なるみ園、(有)杉オート、富張 滯子、横須賀 幸子、小貴 富貴子、セブンイレブン那珂後台店、大兼 真理子、匿名 17 件
- **おしりふき布 (届け先 市内施設・利用者等)**
野木 利三郎、野田 敏之、山中 澄子、富張 滯子、横須賀 幸子、小貴 富貴子、匿名 5 件
- **タオル・ぞうきん等 (届け先 市内施設)**
野木 利三郎、成田 純子、山中 澄子、菅原 久美子、富張 滯子、匿名 16 件



那珂市民生委員OB会様から寄付いただきました。



アンダーツリー(株)様から車両の寄贈をいただきました。



那珂市ゴルフ連盟様から寄付いただきました。

那珂市社協は、所得税額から一定の金額を控除できる税額控除対象法人です。社会福祉協議会に寄付された個人のかたは、税制上の優遇措置が受けられます。

「あん・しん・ねっと」ってなあに？

～「みまもり活動」で安心できる暮らし～

あん・しん・ねっと事業は、ひとり暮らしの高齢者などが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、ゆるやかにみまもりあう事業です。住民どうしが「みまもり活動」を行い「気づき(みつける)」から関係機関などに「つなげる」ことで早期発見・対応が可能になります。普段からのおつきあい「つながり」から地域の安全を守ることに繋がります。

①ご近所のかたが異変に



気付く

②事務局に



連絡

③関係機関などに



つなげる

● 問い合わせ 総務・地域福祉グループ 229-0309

「那珂市のふくし」の一部には、赤い羽根共同募金の配分金が使われています。



ご近所の活動拝見

～あったかはおとをみんなの手で～

第64回 ふれあい・いきいきサロン

『いきいきサロン ラベンダー』

今回は、菅谷地区で活動している「ラベンダー」をご紹介します。

結成の経緯について代表の磯崎さんに話を伺いました。平成28年4月に結成され、今年で7年目を迎えるそうですが、始まりは地域包括支援センターの「介護予防教室」がきっかけでした。「元気に年を重ねたいと思っているかたちばかりで、教室が終わってから身体を動かしたり、集まっておしゃべりする場が必要だよ」という仲間たちの会話のなかで設立が決まったと言います。「ラベンダー」というサロン名は、「会員みんなが好きな花で、覚えやすいから」と命名したそうです。

活動について伺うと、「月2回、シルバーリハビリ体操を中心に活動を行うことで、定期的に運動を続けられています。また、健康づくりのために茨城保健生協那珂支部の組合員の協力を得て、2ヵ月に1回健康チェックを始めました。」と教えていただきました。「何より、この活動を通じて友達が増えたことが大きな喜びですね。」と磯崎さん。コロナ禍での活動ですが、細心の注意を払いながら行っており、ラジオ体操をしたり、時には歌を歌ったりなど、会員同士会話を楽しむ場面もあり、みんなが和気あいあいと活動をされていました。今後は、コロナに負けない身体づくりと、会員募集に力を入れていきたいと話されていました。

- 名称 いきいきサロン「ラベンダー」
- 日時 第1・3金曜日 午前10時から40分間（コロナで短縮中）
- 会場 高齢者センター 多目的室
- 活動 シルバーリハビリ体操 など
- 会員 13人（70～80代 現在女性のみ）
- 会費 なし



サロン代表からの一言

いつまでも健康でいたいけど、ひとりで続けるのは難しい。でも、仲間がいれば楽しく続けられる、そんなサロンです。体験からでも大歓迎です。ぜひ一緒に活動してみませんか？

ふれあい・いきいきサロンに興味・関心のあるかた、「やってみようかな」とお思いのかた、那珂市社協までご連絡ください。

「きずなBOX」令和3年度 寄付食品 2.1t 達成

きずなBOXは、ご家庭にある食品を必要なかたに寄付することのできる食品収集箱です。

市内3か所に設置された「きずなBOX」には、令和3年4月から令和4年3月までに合計で2,160kgもの寄付が集まりました。本当にありがとうございました。

引き続きご協力いただけますようお願い申し上げます。

■あなたの家に未開封の食品はありませんか？

未開封の食品で常温保存可能な賞味期限が2か月以上ある食品をお預かりします。（お米など、一部の寄付については状態を確認させていただく場合もございます）



ありがとう!!
2.1トッ
達成!!

	編集委員		
委員	副委員長	委員長	委員長
小澤 祐一	舘 祝子	上原 精一	大和田 優

写真は総合保健福祉センターひだまりで行われている「子育てサロンinひだまり」の様子です。ミュージックケアや読み聞かせなどを通じて楽しく子育てを応援しています。

表紙の紹介

- きずなBOX 設置場所
社会福祉協議会事務所
(瓜連321市役所支所分庁舎内)
総合保健福祉センターひだまり
(菅谷3198)
那珂市役所 1F 総合案内前
(福田1819-5)
- 問い合わせ
総務・地域福祉グループ
229-0309

